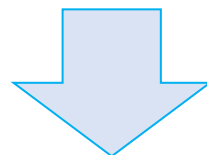


# 人口減少対策パッケージ14万リバウンドプラン ～若者の声を聞く～(公民連携の取組み)

市長公室    SDGs推進課

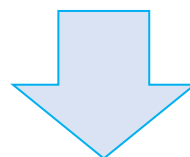
フェーズ①  
流入促進

「生産年齢人口」の外部からの流入を促進する



フェーズ②  
定着環境整備

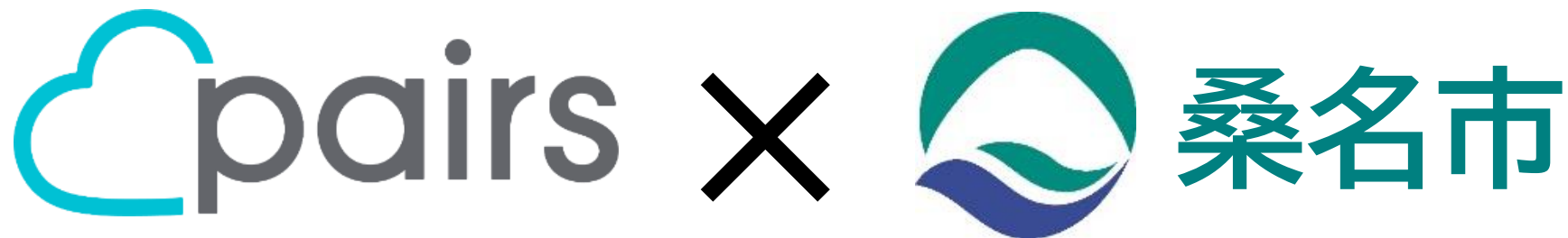
「生産年齢人口」が子育てしやすい環境を整える



フェーズ③  
流出抑制等

今の子ども・若者の考えや気持ちに寄り添った  
施策を実施し、将来の「生産年齢人口」を獲得・確保する

出会い・結婚支援事業



『独身男女の出逢いの機会創出等に向けた連携協定』  
を通じて『連携協定週間の概要』について



# 桑名市の課題【少子化の現状】



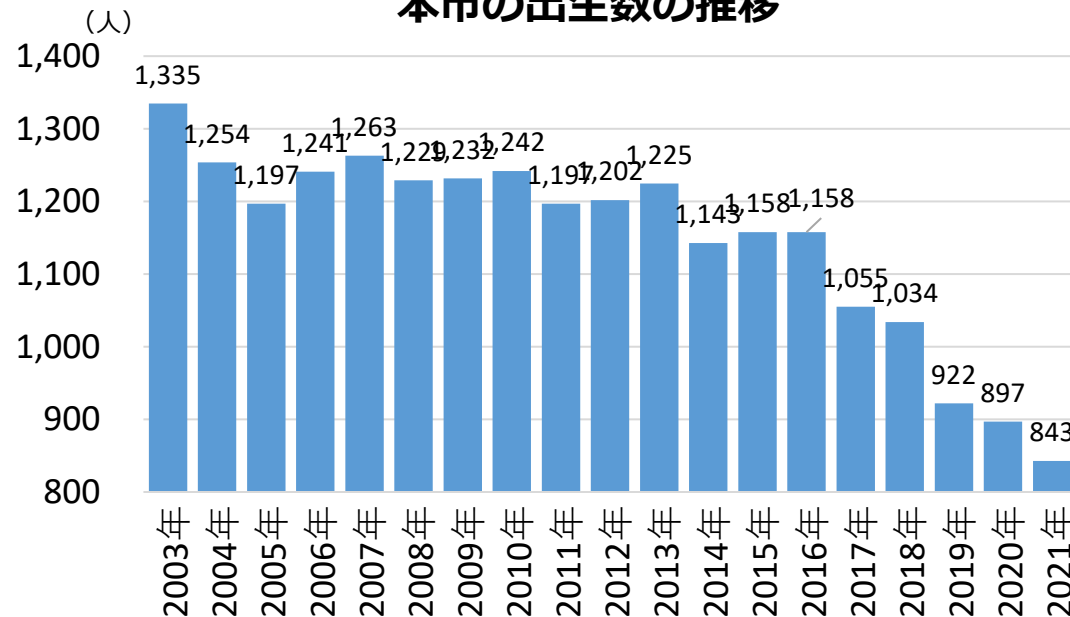
## 本市の出生数の推移

⇒ 千人を下回る出生数となり、近年は**減少幅が広がる**。

本市の未婚率の推移 ⇒ **上昇傾向にある**。

未婚率の上昇は、晩婚化、晩産化につながり、少子化の要因の一つとして考えられる。

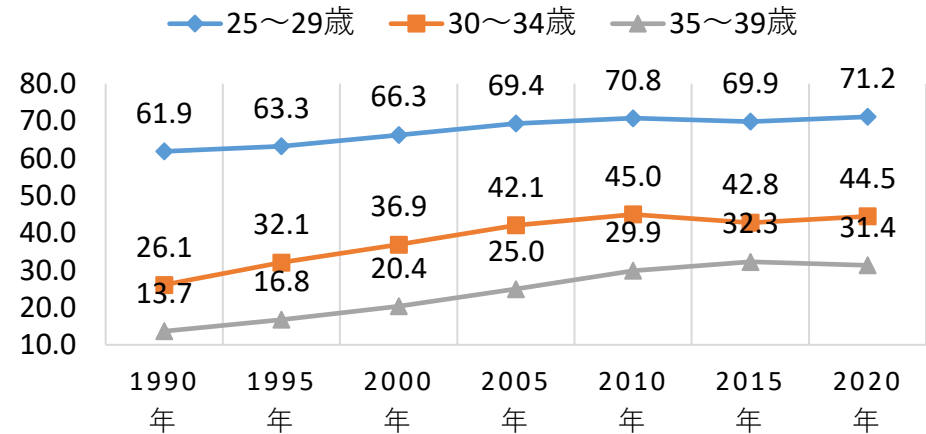
### 本市の出生数の推移



出典) 人口動態統計

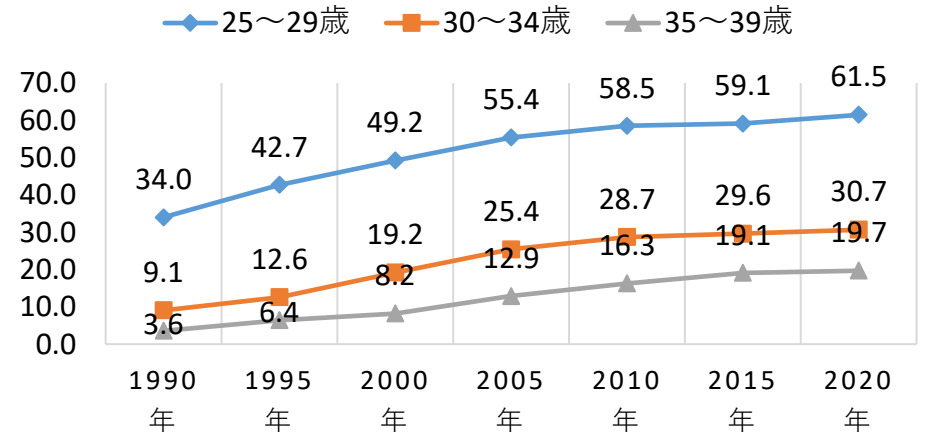
## 本市の未婚率の推移 (男性)

(単位: %)



## 本市の未婚率の推移 (女性)

(単位: %)



資料) 国勢調査 (未婚人口) ÷ (総人口) で算出

# 国の調査結果からみる恋愛・結婚の状況

## 若者の恋愛に関する状況

- 20代女性の**約5割**、20代男性の**約7割**が、**配偶者・恋人がいない**。
- 20代独身女性の**約2割**、20代独身男性の**約4割**が、**デートした経験がない**。

(「令和3年度人生100年時代における結婚・仕事・収入に関する調査」内閣府)

## 結婚に対する考え方

- 「いずれ結婚するつもり」と考える18~34歳の未婚者は、減少傾向にあるものの、**約8割が「いずれ結婚するつもり」と考えている**。

(「第16回出生動向基本調査」国立社会保障・人口問題研究所)

## 結婚（知り合ったきっかけ）に関する状況

- 職場や友人を介した結婚が**減り**、SNSやマッチングアプリといったインターネットサービスを利用して知り合った夫婦が**増加**し、**最近の結婚の約1割**を占める。

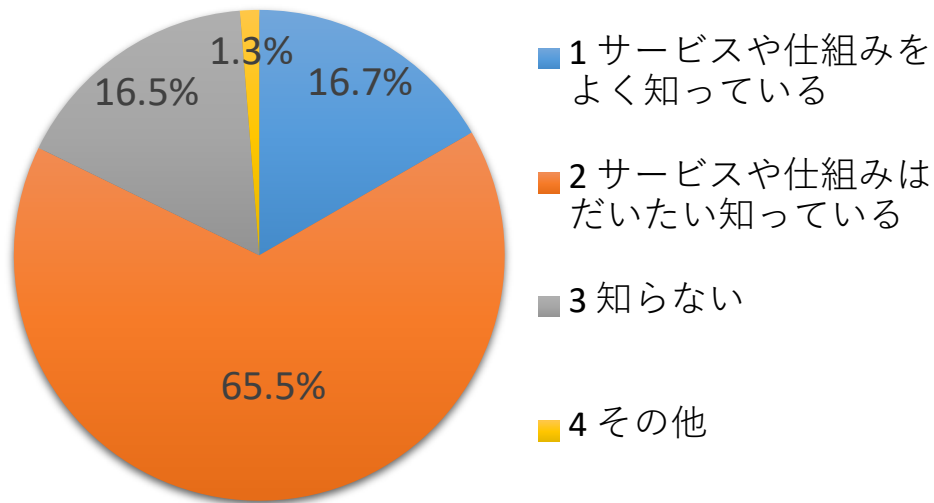
(「第16回出生動向基本調査」国立社会保障・人口問題研究所)

# 桑名市LINEアンケート調査結果

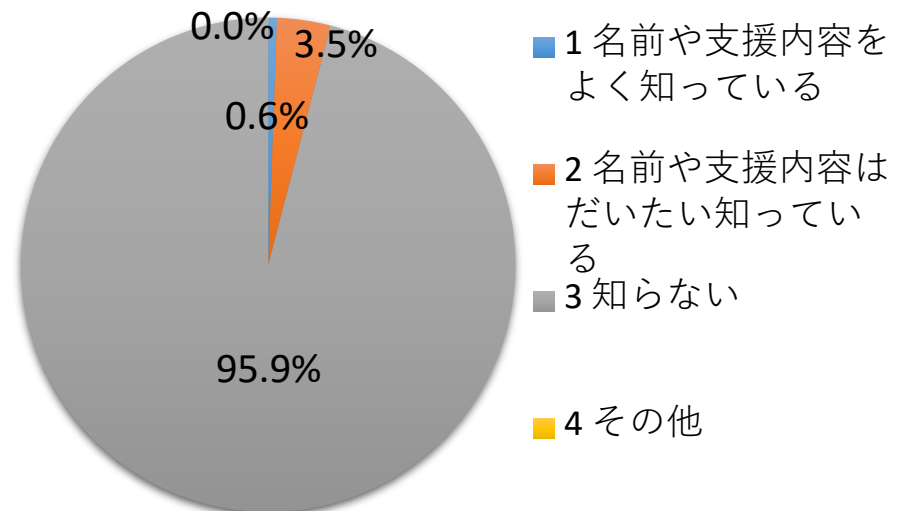
- 従来、行政が行っている出逢いのサービスについては、**約96%**の方が**名前や支援内容を知らない**。一方で、マッチングアプリや婚活サイトについては、**約82%**の方が**サービスや仕組みを知っている**。

## 《サービス等認知度の比較》

### マッチングアプリや婚活サイト



### 従来、行政が行っている出逢いのサービス



# 独身男女の出逢いの機会創出等に向けた連携協定

## 桑名市

・交際や結婚を希望する若者に対して、その希望が実現できるように応援したい。



## 株式会社エウレカ

・少子化・未婚化の解消という社会課題解決に向けた役割を果たしていきたい。

**両者が力を合わせることにより、  
交際・結婚を望む独身男女の出逢いの機会を創出する  
全国の先駆けとなるモデルを構築！**

**市民一人ひとりが幸せを実感できる  
Well-Being（ウェルビーイング）なまちづくりを推進**

# 「三重県桑名市×ペアーズ連携協定週間」イベント概要

## 共通目的

株式会社エウレカと桑名市が令和4年11月に締結した「独身男女の出逢いの機会創出等に向けた連携協定」に基づき、若い世代のニーズを踏まえたマッチングアプリの安心・安全活用を広く周知・推進し、イベント開催等を通じた独身男女の出会いの機会創出・拡大、結婚支援を目指すことを目的とする。

## 項目

5月22日～28日を「連携協定週間」とし、3つイベントを開催した。

- ①エウレカ×桑名市長トークセッション
- ②恋活・婚活オンラインセミナー
- ③恋愛お悩み相談会

また、連動企画として、5月22日から6月16日まで、「独身証明書の利用・普及促進イベント」を開催した。

## 協賛

株式会社エウレカから、プレゼントコード費用として400万ほど、他に関連事業費用として300万ほど、協賛をいただいた。



# エウレカ×桑名市長トークセッション

概要：エウレカCEO、コンシェルジュと市長が、協定が結ばれた経緯や想い、今後の事業展開について対談した。

日時：令和5年5月24日（水） 16時～17時

場所：ナガシマリゾート なばなの里 ベコニアガーデン

参加者：エウレカCEO山本氏、桑名市長 伊藤徳宇、  
ペアーズコンシェルジュ大道氏・青柳氏



桑名市長 伊藤徳宇

本市でも少子化が進んでいる中、出生数とほぼ同じ割合で婚姻届の申請数も減っていることから、未婚率の上昇が少子化の一因であることが分かった。自治体主導の婚活サービスもあるが、認知度は3%と非常に低い。「Pairs」の認知度は高く、今回の連携協定は、本市の少子化・未婚化の課題解決に非常に有効であると考えている。

マッチングアプリで結婚する人は増えているが、浸透しているとは言えない。マッチングアプリ利用意向は、都心部では高いが、地方ではまだまだ低い状況で、安全面に不安があるとの声も聞いている。地方での普及を目指し、桑名市の人々がマッチングアプリをより安心して使ってもらえるようにしていきたい。



エウレカCEO 山本氏



「未婚率の上昇が少子化の一因である」という課題



『恋人探しのための活動をする人をいかに増やすかが重要である』 pairs というねらい

## 市の課題解決

# 恋活・婚活オンラインセミナー

トークセッションでの連携協定に至った思いを具現化するため

マッチングアプリを安全かつ効果的に利用できるように、恋愛コンシェルジュによるオンラインでの恋活・婚活のセミナーを開催した。

**概要：**ペアーズコンシェルジュがマッチングアプリを楽しくかつ安全に使って恋活・婚活を充実させるコツをオンラインセミナー形式で配信した。

**日時：**令和5年5月25日（木）19時～20時  
令和5年5月27日（土）14時～15時 ※いずれかの参加

**場所：**桑名市役所 3階第2会議室

**講師：**ペアーズコンシェルジュ大道氏・青柳氏

**対象者：**18歳～39歳の独身の方 かつ  
桑名市内在住の方または桑名市への観光や移住等に興味・関心のある方

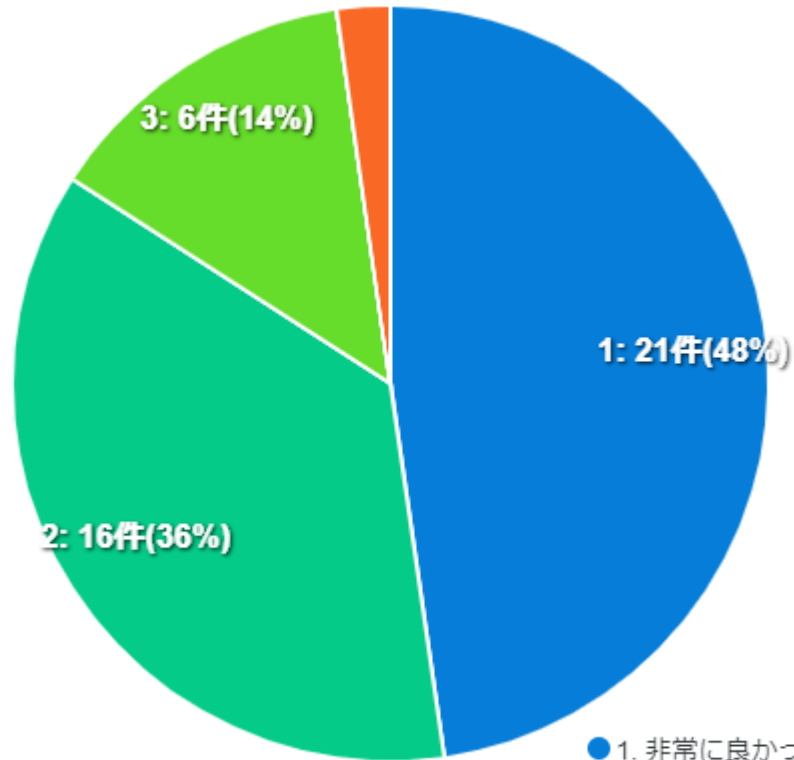
	事前申込者数	当日参加数
5月25日	32	40
5月27日	22	27
合計	54	67



セミナー後、受講者に向けアンケートを実施。（回答数44名）

# 恋活・婚活オンラインセミナー アンケート結果

1. 今回のセミナーの評価はいかがですか？

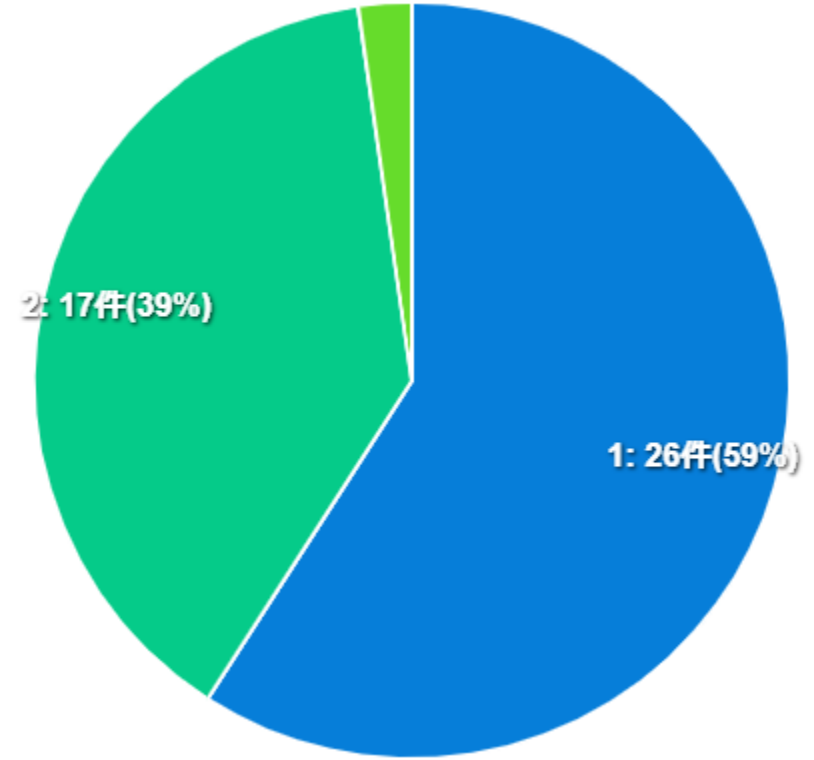


非常に良かった・良かった 計84%

普通・その他 計16%

- 1. 非常に良かった
- 2. 良かった
- 3. 普通
- 4. あまり良くなかった
- 5. 良くなかった
- 6. その他

2. セミナーを受講して、マッチングアプリに対する安全性についてどう変わりましたか？



安全・どちらかといえば安全 計98%

- 1. 安全
- 2. どちらかといえば安全
- 3. どちらかといえば危険
- 4. 危険

# 恋愛お悩み相談会

オンラインセミナーはアプリの使用方法についての講義であるため

さらに対面での個別相談の機会も提供できるように、また気軽に立ち寄ることができるように、市内の大型商業施設で個別相談会を開催した。

概要：日頃のちょっとしたお悩みにも対応した個別相談会。  
カップル、ご夫婦での参加、当日飛び入り参加も可能。

日時：令和5年5月25日（木）13時～15時  
令和5年5月26日（金）15時～17時、  
18時～19時

場所：イオンモール桑名 1番街3階  
キッズスペース横の特設会場

講師：ペアーズコンシェルジュ大道氏、青柳氏

	当日参加数
5月25日13時～15時	2
5月27日15時～17時	1
5月27日18時～19時	3
合計	6

～相談会に参加した方の感想～

コンシェルジュからの質問に回答・雑談をただで、自分に合った相手の選び方・恋愛の進め方を教えてくれました。短時間雑談ただで自分以上に理解されて鳥肌ものでした。あの感覚、ぜひ皆さんに体感してほしいです。今まで恋愛に悩んでいた人も「ちょっと頑張ってみようかな」「恋愛してみようかな」と背中を押してもらえますと思います。また、マッチングアプリは母数が多いため、どういう人を選べば良いかわからなくなってしまうがちですが、始める前にどういう人を選べば良いか教えてもらうことによって悩みが少なくなるのではと感じました。恋愛を始めたいと思っている人は、まずコンシェルジュに相談してからアプリを始めるとうまく恋愛へと発展することができる近道ではないかと思いました。



# 若者の価値観を知るために研修会を開催

## 概要

若者の動向・思考等に関して研究を行っている事業者より講師を招き、幹部職員向けに研修会を開催し、講義、ディスカッションを通じて、若者の考え・気持ちに寄り添う施策立案のヒントを得ることを目的とします。

## 日時

令和5年8月8日(火)

## 講師

株式会社博報堂 若者研究所リーダー ボヴェ 啓吾氏



若者と、未来の暮らしを考える

### 【講師経歴】

法政大学社会学部社会学科卒。2007年(株)博報堂に入社。マーケティング局にて多様な業種の企画立案業務に従事した後、2010年より博報堂ブランドデザインに加入。ビジネスエスノグラフィや深層意識を解明する調査手法、哲学的視点による人間社会の探究と未来洞察などを用いて、ブランドコンサルティングや商品・事業開発の支援を行っている。2012年より東京大学教養学部全学ゼミ「ブランドデザインスタジオ」の講師を行うなど、若者との共創プロジェクトを多く実施し、2019年より若者研究所代表を兼任。著書『ビジネス寓話50選-物語で読み解く企業と仕事のこれから』

